

\*\*\*\*\*令和5年度天草支部の取り組み\*\*\*\*\*

記録者：荒木 明美（天草市立佐伊津小学校）

## 1. 研究テーマ

小・中の滑らかな接続を意識した授業の創造  
～小中学校における話すこと（やり取り）における指導法について～

## 2. 研究の実際

### 1 本年度の取組

#### (1) 研究推進委員会

- ① 第1回 6月 5日（月） 県役員会報道、英語部門事業計画について
- ② 第2回 8月23日（水） 県役員会報道、英語部門研修会について
- ③ 第3回 2月 2日（金） 本年度事業の反省と来年度への志向

#### (2) 天草教育研究所「英語部門研修会」

9月15日（金） 於：天草市立本渡東中学校

天草管内の小中学校英語担当者44名（小学校13名、中学校31名）が参加



#### ① 公開授業（外国語科）

3年 Unit4 AI Technology and Language

天草市立本渡東中学校 第3学年

授業者 津田 恭子 指導教諭

（天草市立本渡東中学校）

夏 佳代子 教諭

（天草市立本渡東小学校）



#### ② 授業研究会

助言者 天草教育事務所

岡崎 卓 指導主事

#### ③ 研究協議から

天草管内の中学校で、75%の中学校は1つの小学校から入学してくる1小1中の現状がある。英語の授業の接続という意味で小学校と中学校の英語の授業を繋ぐ小中連携ももちろん必要であるが、小規模の中学校の英語担当者同士のネットワーク（中中連携）が必要であるとことを強く感じた。本渡東中の津田指導教諭をはじめとする、授業づくりの



リーダーを活用しながら学び合う機会を確保していくという意味ではこの研究会は大変有意義であったと感じている。次年度も授業を通した研修会を望む感想が多く見られた。

## 2 まとめ

今年度も天草管内の今日的な教育課題に基づき、「小・中の滑らかな接続を意識した授業の創造」を研究テーマとして活動を行った。特に、今年度は小中学校の研究委員から多く出された「やり取り」の指導について焦点化して取り組んできた。

天草教育研究所英語部門研修会においては、4年振りに公開授業および授業研究会を実施した。公開授業では、小学校と中学校の滑らかな接続を意識して、中学3年生の授業を中学校教員と小学校教員でのチームティーチングとして行った。また、授業研究会では「話すこと（やり取り）の力を伸ばすための授業づくり」について意見交換をする中で、小学校の学びが中学校の学びにどう繋がっていくのか、考えを深めることができ、管内の先生方にとって学びの多い授業研究会となった。

今後も、「天草はひとつ」を合い言葉に、小学校、中学校の垣根を越えた協力をしていしながら、児童生徒が豊かなコミュニケーション能力を身につけることを目指して、実践を積み重ねていきたい。